

# 檄

## フード連合の総力をあげて衆議院選挙に勝利しよう！

本日、第47回衆議院選挙が公示され、12月14日の投票日に向けての闘いが始まった。

今回の選挙は、安倍政権の2年間に対する評価を下す選挙であるとともに、向こう4年間の日本社会のありようを決める重大な選挙である。

この2年間、「アベノミクス」といわれる新自由主義にもとづく経済政策は日本社会の格差拡大を助長させた。

我々は、安倍政権による経済運営の失敗を正し、成長戦略を改めさせるために連合推薦候補者全員の当選をめざし今の流れを変えていかなければならない。

とりわけ、私たちの組織内候補である城島光力候補の選挙戦は、議席回復に向けてフード連合の力量が試される選挙でもある。短期間の中ではあるが、城島候補の必勝のため、1人でも多くの、1日でも多くの組合員がボランティア活動に参加して頂きたい。

加えて、政策顧問としてフード連合の産業政策の実現に向けて共にご尽力いただいている、泉けんた候補、玉木雄一郎候補についても地域を通じて全力で取り組まなければならない。

突然の解散で準備期間がない選挙ではあるが、投票日までの12日間、フード連合本部、構成組織、地区協議会の総力をあげて組合員に訴え、家族や親せき、知人や友人の共感を得よう。持てる力を総結集し、連合推薦候補と城島候補、泉候補、玉木候補の必勝に向けて、共に頑張ろう。

2014年12月2日

日本食品関連産業労働組合総連合会  
会長 松谷 和重